

沖繩、辺野古・高江——渦巻く怒りの現場から

講演

目取真俊

沖繩基地強化の根底を抉り出す目取真俊さんのことばの刃の切っ先をたどっていくと、それははっきりと今日の世界の激動の本質に突きつけられている。

7月6日(日)

13:00開会 (12:30開場)

文京区民センター 2A

参加費 500円

日米両権力者は沖繩県民のうめき声を再び三度泥靴で踏みしだいている。目取真俊さんは沖繩を離れない。沖繩を舞台とした作品にこだわり続けている。遠い沖繩戦の記憶を描いているわけではない、基地あるが故の被害を書いているわけでもない。沖繩に生き、深く内在することではじめて見える日本国家、日米同盟、アメリカの戦争と世界支配…その歴史と現実。そこで抗う人々の苦闘。「沖繩」問題をはるかに超える現代社会の腐敗を突き出し、私たちに挑んでいる。

「沖繩、辺野古・高江——渦巻く怒りの現場から」問題を提起していただき、戦争への道をひた走る安倍政権に抗するための議論の場としたい。

プロフィール 目取真俊さん 沖繩県今帰仁村出身、芥川賞など数々の文学賞受賞。沖繩の自然や風土、歴史に深く根ざした小説を発表。沖繩タイムスや琉球新報をはじめ、新聞や雑誌にエッセイ、評論などを発表。ブログ「海鳴りの島から」には、作家の眼から鋭く捉えられた沖繩をめぐるトピックスが満載されている。

集団的自衛権行使容認の閣議決定に反対しよう!